

# みんなで描こう！ ～これからの街～

..... 長期大幅削減の絵姿(街のイメージ) .....



環境省「長期低炭素ビジョン」平成29年3月

**再生可能  
エネルギー等が  
9割以上**

- 再生可能エネルギーなどの低炭素電源が、発電する電力量の9割以上。
- それぞれの地域に合わせた再生可能エネルギー発電（高効率で需要家近接型の太陽光発電、ポテンシャルの大きい風力、安定的な水力、地熱、バイオマス等）。
- 地域での再エネ普及が、地域雇用の創出や国内企業の活動原資に。

**乗用車は  
EV/PHV車が  
主流に**

- 乗用車はEV/PHV車が主流（エネルギー源は、低炭素電源の電力や再エネで作る水素）。
- ライドシェアやカーシェアリングなどの仕組みも普及。
- ICT技術やビッグデータ活用による自動運転で、エコドライブ & 渋滞のない最適ルート選択。

**都市のコンパクト化  
移動も低炭素化**

- 都市のコンパクト化。徒歩や自転車の活用が増え、公共交通も整備され移動が便利に。
- 長距離輸送の動力源が低炭素化（再エネ由来の水素やバイオ燃料の導入が進む）かつ運航の効率化。

**建物も省エネ化**

- 建物は断熱性が高くなり、省エネかつ健康で快適に。そのことで生活の質（QOL）も向上。
- パッシブ設計（特別な機械装置を使わずに、建物の構造や材料などの工夫によって熱や空気の流れを制御し、快適な室内環境をつくりだす手法）の普及。創エネ機器や省エネ機器の選択。

環境省「長期低炭素ビジョン」（平成29年3月）より作成